

1. 科目名 (単位数)	公衆衛生 (2単位)	3. 科目番号	EDHE3314				
2. 授業担当教員	石本 強						
4. 授業形態	講義、ディスカッション、発表	5. 開講学期	春期				
6. 履修条件・ 他科目との関係							
7. 講義概要	<p>公衆衛生は、健康上の問題を集団で捉えることにより、疾病の予防や健康増進のための組織的な対策や制度を考える学問である。福祉や医療に携わる専門職には、必須の分野である。</p> <p>本科目では公衆衛生の概念や基本的な考え方、我が国が直面しているさまざまな健康問題（感染症、生活習慣病など）の現状と課題を学び、疾病予防や健康増進のための公衆衛生活動について考察する。さらにこれからの保健・医療・福祉の方向性と互いの連携の在り方について、学生自身が考察できる力を身につけることができるようにする。</p>						
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 公衆衛生の歴史と概念について説明できるようになる。</li> <li>2. 保健統計の各指標について説明できるようになる。</li> <li>3. 疫学の考え方について説明できるようになる。</li> <li>4. 各健康問題（感染症、生活習慣病など）の現状に関心を持ち、課題の解決に対して意欲を持てるようになる。</li> <li>5. 専門職として理解しておくべき公衆衛生に関する知識や考え方を習得し応用できるようになる。</li> </ol>						
9. アサインメント (宿題) 及びレポート 課題	<p>各学生は、割り当てられた範囲について資料を調査後、グループでディスカッションし発表する。課題についてレポートを提出する。</p> <p>詳細は授業の中で説明する。</p>						
10. 教科書・参考書・ 教材	<p>【教科書】清水忠彦・南波正宗『わかりやすい公衆衛生学』ヌーベルヒロカワ、第4版新装版</p> <p>【参考書】厚生統計協会編集・発行『国民衛生の動向 2020年』。</p> <p>鈴木庄亮・久道 茂監修『シンプル衛生公衆衛生学2019』南江堂、2019。</p> <p>澤口彰子他「人体のしくみとはたらき」朝倉書店、2015。</p> <p>東京福祉大学編『保育児童福祉要説』中央法規。</p>						
11. 成績評価の規準と 評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保健統計・疫学などの用語や考え方を説明できるようになったか。</li> <li>2. 身近な健康問題の現状に関心を持ち、自らの考えで対処できる力を身につけたか。</li> </ol> <p>○評定方法</p> <p>[日常の授業態度、提出物等を総合して評価する]</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 日常の授業態度（参加、実践、態度）</td> <td>総合点の40%</td> </tr> <tr> <td>2. 課題発表・期末試験など</td> <td>総合点の60%</td> </tr> </table>			1. 日常の授業態度（参加、実践、態度）	総合点の40%	2. 課題発表・期末試験など	総合点の60%
1. 日常の授業態度（参加、実践、態度）	総合点の40%						
2. 課題発表・期末試験など	総合点の60%						
12. 受講生への メッセージ	<p>少子高齢化が世界で最も進んでいる日本において、保健や福祉を志す人は健康問題に常に敏感になることが必要である。新聞などのメディアが報じるニュースをよくチェックし解決策を考えてみよう。なお健康問題を考えるにあたって、人体の仕組みについてもよく復習すること。</p> <p>[受講生に期待される学習態度]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業は常に高い緊張感と集中力をもって受講すること。学生の積極的な態度が望まれる。</li> <li>2. 授業中、授業外に進んで教師に質問すること。理解できないことをそのまま放っておかないこと。</li> <li>3. レポートの提出期限は厳守すること。</li> <li>4. 授業中の私語、携帯電話の使用は絶対にしないこと。守れない場合は退室のこと。</li> </ol> <p>[講師は次のことを実行する]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業の目的、目標を明確にし、授業の進行はシラバスに沿って行う。</li> <li>2. 受講生全体に聞こえる大きさの声で話をするとともに専門用語はわかりやすく説明する。</li> <li>3. 授業中の居眠り、私語、携帯電話の使用については厳格に対処する。</li> </ol>						
13. オフィスアワー	別途通知する。						
14. 授業展開及び授業内容							
講義日程	授業内容	学習課題					
第1回	オリエンテーション 公衆衛生の概念、ウィンスロウの公衆衛生の定義 国の責務、WHOの健康の定義、疾病構造の変化、予防の概念	事前学習	教科書第1章「公衆衛生学とは」を読んでおく				
		事後学習	公衆衛生の概念及び健康、予防について復習する				
第2回	ヘルスプロモーション、国際協力活動 公衆衛生の歴史、感染症対策	事前学習	教科書第1章「公衆衛生学とは」を読んでおく				
		事後学習	ヘルスプロモーション、国際協力活動 公衆衛生の歴史、感染症対策について復習する				
第3回	疫学（疫学とは何か、疫学調査の手順と留意事項、選択バイアス・情報バイアス・交絡バイアス、無作為化比較試験（RCT））	事前学習	教科書第2章「疫学的方法」を読んでおく				
		事後学習	疫学について復習する。				

第4回	人口問題、人口動態統計、健康状態、受療状況	事前学習	教科書第3章「健康の指標」を読んでおく
		事後学習	健康の指標について復習する。
第5回	感染症とその予防(感染症の成立要因、感染症予防対策)	事前学習	教科書第4章「感染症の予防」を読んでおく
		事後学習	感染症について復習する
第6回	感染症とその予防についてのグループディスカッションと、発表	事前学習	教科書第4章「感染症の予防」を読んでおく
		事後学習	感染症とその予防について復習する
第7回	食品と健康(食中毒の原因(病原微生物・自然毒・化学物質)と発生状況、予防対策について、食品の安全性を確保するための法律について)	事前学習	教科書第5章「食品保健」を読んでおく
		事後学習	食品と健康について復習しワークシートを提出する
第8回	医療・介護の保障制度(わが国の医療保障の制度、公費負担医療、医療保険制度のしくみ、国民皆保険制度、診療報酬制度、国民医療費の現状、介護保険制度)、難病対策(難病の概念)	事前学習	教科書第7章「医療・介護の保障制度」を読んでおく
		事後学習	医療・介護の保障制度について復習する
第9回	母子保健(日本の母子保健の水準、乳児死亡率、周産期死亡率、妊産婦死亡率、幼児死亡率、母子保健対策、健康診査、母子健康手帳、保健指導と医療援護、母子保健の課題と動向)	事前学習	教科書第9章「母子保健」を読んでおく
		事後学習	母子保健対策について復習する
第10回	学校保健 環境保健	事前学習	教科書第10章、6章を読んでおく
		事後学習	学校保健、環境保健について復習する。
第11回	生活習慣病の概念と現状 健康づくり、生活習慣改善と健康	事前学習	教科書第11章「生活習慣病」を読んでおく
		事後学習	生活習慣病について復習する
第12回	生活習慣病とその予防についてのグループディスカッションと、発表	事前学習	教科書第11章「生活習慣病」を読んでおく
		事後学習	生活習慣病対策について復習する
第13回	難病対策 精神保健	事前学習	教科書第12章「難病対策」14章 精神保健を読んでおく
		事後学習	生活習慣病、精神保健について復習する
第14回	精神疾患とその予防、対策についてのグループディスカッションと、発表	事前学習	教科書第12章「難病対策」14章 精神保健を読んでおく
		事後学習	精神疾患とその予防、対策について復習する
第15回	まとめ	事前学習	今まで学習したことを振り返り、日本の公衆衛生にはどのような問題があるか考えてくる。
		事後学習	公衆衛生全体について学習したことをまとめる